

Vol.56 バリアフリー ムーブメント

「いざ」じゃないとき知る知識!
「いざ」というとき引き出す知識!

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう!

「今回のテーマ」
**消費者の声を生かして、
より使いやすくなった製品**

既存の製品をより多くの人を使いやすいようにしてあげるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これらからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。
今回は、「消費者の声を生かした製品」についてを紹介する。
(森川 美和)

普段何気なく使っている調味料や飲料のパッケージ。最近使った時、「あれ?」今日は力を入れなくても軽く開いたような気がする。、「こんなところに分かりやすい目印(大きな文字、マークや点字など)がある。いつからだろう?」と思いつつ増えてきた。これらの工夫や配慮は、消費者の「不便だな」「使いにくいな」「開けにくいな」と感じる言から生れたものもある。消費者の声を受けとった企業は、可能な限り対応し改善策を見出す。直ぐに製品化されるものもあれば、長い期間検討が必要なものもある。改善された製品は、特に不便がなければ意見を言う必要がないので、わざわざその会社に「おきの製品はよくありません」と等々連絡する人はあまりいない。本来なら、消費者の役割として、使いやすいものを提供している企業に「この工夫はともいって」と既存の工夫のよい部分を知らせてあげることや、「こんな工夫があればもっと使いやすいかな?」と「いざ」という前向きな意見を伝えることも、よりよい製品が生れる一つの方法である。

国内で初めての取り組み 「缶ぶたの点字」と「キャップの点字」の誕生!

「宝酒造といえば、タカラ canチューハイ」と、飲酒するしないにかかわらず、一般に馴染み深く、親しまれている商品名が直ぐに頭に浮かぶ。
現在では、缶入りチューハイのパッケージには「お酒」というマークが大きく表示されているため誤飲の心配はほとんどない。しかし発



写真A (canチューハイの写、点字部分有)



写真B (酒類紙バックの写、点字部分有)

*キャップの点字がついている酒類紙バックは以下のとおりです。
(本格焼酎「よかいち」宝焼酎ピュアバック、松竹梅 天(てん)、上撰松竹梅「サケバック」)

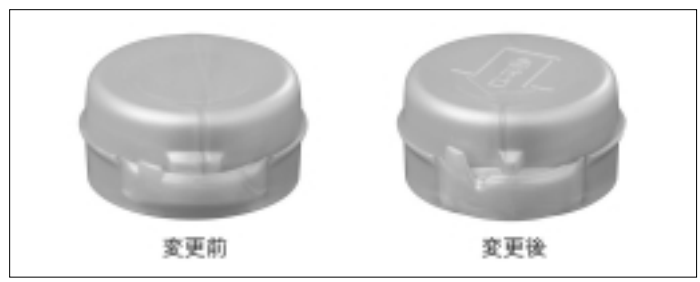
売当初は、アルコールとノンアルコールの缶の区別がつきにくく、特に目が見えない人や見えにくい人の誤飲が心配された。
そこで誤飲を防ぐために生れたのが「缶ぶたの上部に点字をつけること」であった。宝酒造が缶入りチューハイに点字の表示を入れたのが1995年、今から10年以上前のことである。
その後アルコール飲料各社は、この誤飲防止の画期的なアイデア(点字貼付)を次々と採用し、今では国産の缶入りアルコール飲料で点字がついていないものはないほどである。
また、お店やスーパー等

ではお酒を購入する際には未成年者への配慮がなされているが、一旦家の冷蔵庫に入れば区別がつかない。もちろん各家庭、保存場所には十分に配慮されていると思うが、缶の表面にりんごやグレープフルーツ、桃やぶどうなどのイラストなどがおいしそうに描かれて

いると、子どもでなくても「ジュース」と勘違いしてしまうことがある。しかし、缶にひらがなや点字で「おさけ」と入っていることを覚えて伝えておけば、誤飲を未然に防ぐことができるのだ。
点字は本来、目の不自由な人達の情報入手や伝達等

キャップが開けやすくなった「タカラ本みりん純米」

「タカラ本みりん純米」は、お料理の素材を引き立て、味わい深くまるやかに仕上げます。
「これは消費者に本物の味を提供したいと願う宝酒造の創業以来の試みのなせるワザである。」
「この本みりんの容器にも実は工夫がある。」
発売以来、容器のキャップは安全に考慮して「いたずら防止機能」を採用していた。
そのため、お客様相談室に寄せられた意見の中には「使用しにくい」「開けにくい」というものがあった。
「安全面に考慮すること」は大事だ。しかし開けにくいのは改善しなくてはならない。
早速改良を重ね、現在の仕様が誕生した。
宝酒造の環境広報部広報課課長の平尾嘉之さんは「当初からユニバーサルデザインを意識したのではなく、お客様の視点に立ったモノづくりに努めた結果がこれらの取り組みに繋がったのです。これからもすべての人にやさしく「いきいき」をお届けする企業であり続けたいです。」と語った。



写真C (タカラ本みりん純米キャップの工夫)

宝酒造に関するお問い合わせ先
〒600-8688 京都府京都市下京区四条通烏丸東入
宝酒造(株) お客様相談室
(受付は、土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)
電話: 075-241-5111
URL: <http://www.takarashuzo.co.jp/>
e-mail での問い合わせは、上記 Webから右上のお客様相談室をクリックして、Eメールでの問い合わせからお願いします。

TaKaRaグループの大平印刷(株)が取り組む、
誰もが使いやすい「ユニバーサルプリンティング」
大平印刷(株)(京都市・下京区)は、できるだけ多くの人にとって使いやすく見やすい印刷物を企画し提供している。
文字の大きさやフォント、さらにはコントラストをはじめ、約30万人以上いるといわれている色弱の人達にも読みやすい印刷物について日々研究を重ね取り組みを行っている。
大平印刷(株)へのお問い合わせ先
〒600-8881 京都府京都市下京区西七条掛越町55
電話: 075-313-7141
URL: <http://www.taihei.co.jp/>